

公共施設男性用トイレにサニタリーボックス設置を求む

質問

近年、高齢の男性を中心に前立腺がんや膀胱がんになる方が増えています。これらのがんの特徴は排尿障害や頻尿、失禁で、がんを摘出した場合もこの症状は残ると言われています。その為、尿漏れパッドやオムツを使用する方が増えており、まずは公共施設の男性用トイレにサニタリーボックスを設置すべきではないでしょうか。

答弁

まずは市民の利用の多い市役所とコミュニティセンターの多目的トイレに設置を検討します。その他の公共施設についても設置スペースや一般ゴミとの混在を防ぐ方策などを考慮しながら実情に合わせて設置を検討していきます。

解説

男性用トイレにサニタリーボックスを設置することはトランスジェンダーの方々への人権の配慮でも有ります。誰もが心配なく気軽に出かけられる街づくりは、市民の皆様の健康を促進することにつながります。

館山市役所庁舎のトイレ環境整備を求む

質問

市役所庁舎は老朽化が進んでいます。市内外からの来客も多い中、市のイメージを左右するトイレは特に経年劣化が著しい。せめて女性用トイレのドアの補修と、多目的トイレの扉を車いす利用の方がスムーズに開閉出来るよう改修、そして親子で安心して利用できるようにベビー（チャイルド）キープの設置をすべきと考えます。

答弁

多目的トイレのベビーキープの設置についてはスペースが確保出来るか確認の上、検討します。他については補修の必要性に鑑みて対応します。



HPVワクチン接種勧奨について

質問

子宮頸がんは若い世代の女性が多く罹ります。このがんの発生にはHPVというウイルスが関わっています。子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）を接種する事により12年間にわたり原因の80%~90%を防ぐ事が出来ます。現在、小学校6年生から高校1年生の女子が定期接種の対象となっています。しかしながら、その接種率は4%と先進国の中では最低レベルです。又、接種の機会を逃した平成9年4月2日から平成19年4月1日の間に生まれた方を対象にキャッチアップ接種の機会が設けられています。接種の有用性と接種機会の周知はどのようにされていますか？

答弁

市のホームページや広報誌に掲載し、学校等にポスターを掲示し、対象者には個別通知をしています。

解説

定期接種期間やキャッチアップ接種期間を過ぎ、自費で接種をする場合の本人負担は7万円~10万円にも及びます。キャッチアップ接種対象の方は、遅くも令和6年9月末までに接種を開始し、令和7年3月末までに計3回の接種が必要です。

重篤な副反応については、0.09%1万人に9人の発現に抑えられています。是非、HPVワクチンを接種しましょう。